

2009年5月26日

ディーリンクジャパン株式会社

## D-LINK 世界市場シェアを保持 ラージ～スモールビジネスネットワークスイッチの出荷台数ランキング

Japan, May 26, 2009 -

3月26日の米ガートナー社のレポートによれば、コンシューマー、ビジネス向けエンド ツー エンド ネットワークソリューション プロバイダーのD-Linkは、2008年イーサネットスイッチポートの出荷台数において世界シェアをリードしました。また同レポートでは、競合他社をはるかにしのいでD-Linkがスイッチポートの出荷台数において第2位のポジションを得ました。

レポートでは、D-Link は昨年ワールドワイドのイーサネット スモール エンタープライズ スwitchポート出荷数の市場において、ワールドワイドで32%のシェアで首位を捕らえました。2008年D-Linkはワールドワイドに1300万以上のスモール エンタープライズ スwitchポートを出荷しました。

米ガートナー社による年次調査研究は、またD-Linkは、ミディアム～ラージ エンタープライズとスモールエンタープライズを合わせた市場シェアは16.3%とスイッチポート出荷台数で世界第2位であることを明らかにしました。2008年D-Linkのトータルスイッチ出荷数は2007年の15.3%から16.3%とわずかに成長しています。

同様にIn-Statの3月のレポートは、D-Linkのイーサネット アンマネージド スwitchポート出荷台数35.1%で世界1位の市場シェアは、第2位のNetgearの17%より15.8%もリードしていることを明らかにしました。D-Linkはアンマネージドの出荷台数を強いリードを固めたばかりではなく、マネージドの出荷台数においても年々強い成長を示し続けています。「市場に提供している技術で自信があることを明示した」とIn-Stat社のネットワーク ディレクターであるNorm Bogen氏はコメントしました。

「世界のEthernetポート出荷台数の主要な市場シェアを維持することで、D-Linkは何百万の接続をコンシューマーとビジネスユーザへ高い生産性を実現することを可能にしている」と廖晋新(Marty Liao、ディーリンクジャパン(株)代表取締役社長)は述べています。「我々のボリュームが増加するのに従い、我々の目標は、お客様に最高の価値のある提案を提供すること。そして、それはすべての我々のエンド ツー エンド ネットワークソリューションがもっとも魅力的な価格であり、最高の性能であることを意味します。」

D-Linkは、20年以上ビジネスネットワークの業界にてパイオニアとして活躍しています。D-Linkスイッチは、企業や団体に有線または無線通信に必要なインフラを提供することにより、非常に重要な役割を果たしています。それらのスイッチ、48ポートには様々な便利な構成でご利用いただけます — レイヤ2またはレイヤ3、マネージドあるいはアンマネージド、Web スマート、ギガビットイーサネット、PoEそしてユニファイドワイヤレス—すべてのビジネスアプリケーションのニーズ満たします。

大企業環境への媒体のためのD-Link xStack スwitchソリューションは、ビジネスが展開して、強固なネットワークの接続性、スケーラビリティ、セキュリティ、規格ベースの相互運用性、およびライフタイム保証を提供するLANアーキテクチャを容易に管理することを可能にします。

グリーン ネットワークソリューションを紹介する最初の企業として、D-Linkは現在、自動的にデバイスリンク状態を検出し、そしてリンクしていないポートの電力を減少させるグリーンテクノロジースイッチを提供しています。リンクダウンを検出時にD-Link Green スwitchは、ネットワークパフォーマンスに影響さえることなく、電気使用量を抑えます。

出展:

Gartner, Inc. "Market Share: Enterprise Ethernet Switches, Worldwide, 2008", by Severine Realetal, 26 March 2009.

In-Stat, "4Q08 Ethernet Switch Market Analysis", by Scott Scherer, 25 march 2009

【D-Link 社について】

世界68ヶ国、166拠点を有するグローバルネットワークベンダー・D-Link は20年の歴史を持ち、エントリーレベルからハイエンドまでのスイッチ、ワイヤレスLAN製品群、メディアコンバーター、IPカメラ、ネットワークセキュリティ等、ネットワーキングの全分野を網羅する総合ネットワークソリューションを提供しています。D-Link はこれらの製品を"統合"させることを理念とし、現在はセキュリティと"グリーンIT"に注力しています。日本ではOEM事業を展開した後、2005年7月に現日本法人を設立、自社ブランドメーカーとして、D-Link製品の国内への浸透を図っています。

ディーリンクジャパン株式会社

e-mail:dlink-info@dlink-jp.com

URL:http://www.dlink-jp.com